

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立苅田北小	学校
----------	----

児童数	55人
-----	-----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	^{20m} シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
男子	15.25	20.00	31.70	38.74	38.26	9.84	129.30	20.54	48.30
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.74	21.30	38.35	39.00	40.04	9.51	136.46	13.50	55.91
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

- ・体力合計点の平均は、男子は4.72ポイント下回り、女子は1.94ポイント上回る結果となった。
- ・質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」において、「好き」と答えた児童の割合を全国と比べると、男子は5.9ポイント低く、女子は1.7ポイント高い。
- ・質問項目「1週間の総合運動時間」において、男女ともに毎日全国平均より長い時間体を動かしている。
- ・1週間の総運動時間が60分未満の割合は男女とも大阪市より少なかった。
- ・男子は「上体起こし」の1項目で全国・大阪市の平均を上回った。
- ・女子は「立ち幅跳び」以外の7項目で全国・大阪市の平均を上回った。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

昨年度課題であった運動時間の確保については、全国や大阪市平均を上回っていることや、なわとび週間や運動委員会の取り組みの実施で増加したと考える。また20mシャトルランを年2回実施し、目標（1回目の記録）に挑戦し、成功体験をさせ、自身の伸びを実感させるようにした。しかし、意欲面においては男子は平均より低く、意欲が高かった女子はほとんどの項目で大阪市の結果を上回る結果となった。

種目別にみると「立ち幅跳び」において男女とも大きく平均を下回っている。運動時間の確保と意欲の向上に加えて、来年度はスキル面の向上も視野に入れて取り組んでいく。